

科目名	基礎柔道整復学Ⅲ					
分野	専門分野	担当教員	深谷 高治			
開講時期	1学年 2・3学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	60		4			
科目の概要	本授業では、日本の伝統医療である柔道整復術について学ぶ。特に下肢(脚)の骨折および脱臼を中心に理解を深める。 柔道整復術は、柔術の活法を起源として発展した治療法であり、骨折や脱臼などの外傷に対して、手術や投薬を用いず、骨・筋肉・関節の構造や機能を活かして整復・固定を行うものである。 また、手術を要する外傷については、医療機関で行われている最新の手術療法も紹介し、伝統医療と現代医療の双方の観点から医療全体を理解することを目的とする。					
学習の到達目標	国家試験出題基準に基づく専門知識を体系的に理解し、国家試験合格に必要な学力水準に到達する。					
成績評価の方法と基準	出席基準を満たした者については、試験結果を考慮し評価する。					
使用テキスト	教科書(柔道整復学・理論編)					
参考文献	なし					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	骨盤骨骨折(骨盤骨単独骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
2	骨盤骨骨折(骨盤骨輪骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
3	大腿骨骨折(大腿骨近位端部(頸部)骨折)の病態・治療法・予後に対する理解①					
4	大腿骨骨折(大腿骨近位端部(頸部)骨折)の病態・治療法・予後に対する理解②					
5	大腿骨骨折(大腿骨近位端部(転子部)骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
6	大腿骨骨折(大腿骨骨幹部骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
7	骨盤骨骨折から大腿骨骨折の復習					
8	膝蓋骨骨折の病態・治療法・予後に対する理解					
9	膝蓋骨骨折(分裂膝蓋骨)の病態・治療法・予後に対する理解					
10	下腿骨骨折(下腿骨近位端部骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
11	下腿骨骨折(下腿骨骨幹部骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
12	下腿骨骨折下腿骨遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折の病態・治療法・予後に対する理解①					
13	下腿骨骨折下腿骨遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折の病態・治療法・予後に対する理解②					
14	膝蓋骨骨折から足関節の脱臼骨折の復習					
15	総合評価(まとめ)					

16	足・足指(趾)骨骨折(足根骨骨折)の病態・治療法・予後に対する理解①
17	足・足指(趾)骨骨折(足根骨骨折)の病態・治療法・予後に対する理解②
18	足・足指(趾)骨(足指骨骨折)1
19	足・足指(趾)骨(足指骨骨折)2
20	下肢骨折の復習
21	股関節脱臼(後方脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
22	股関節脱臼(前方脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
23	股関節脱臼(中心性脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
24	股関節脱臼の復習
25	膝蓋骨脱臼の病態・治療法・予後に対する理解1
26	膝蓋骨脱臼の病態・治療法・予後に対する理解2
27	足部の脱臼(ショパール関節脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
28	足部の脱臼(中足, 足指部の脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
29	膝関節脱臼から足部の脱臼の復習
30	総合評価(まとめ)

(2026年度)